

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名					
○保護者評価実施期間	R7年 9月 20日		～		R7年 10月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)		3
○従業者評価実施期間	R7年 9月 20日		～		R7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)		4
○訪問先施設評価実施期間	R7年 10月 18日		～		R7年 10月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)		3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 31日				

○ 分析結果

## 強みと今後の取り組み

### 1. 環境・体制整備

訪問支援に必要な教具・教材が整えられ、支援内容に応じて柔軟に活用されている。

面接室等のプライバシー配慮が行き届いており、保護者・関係機関との面談が安心して実施できる環境が整っている。

事業の目的や支援方針が明確に説明されており、保護者や関係機関からの理解・信頼が得られている。

訪問頻度や時間についても、保護者や訪問先施設との相談を通して柔軟に設定されている。

〈意識的な取組〉

訪問支援員間で教材共有や支援アイデアの交換を行い、効果的な支援体制の構築を意識している。

訪問先や家庭環境に応じた空間づくりや関係づくりに努めている。

### 2. 適切な支援の提供

職員体制が充実しており、子どもの特性や発達段階に応じた専門的支援を実施できている。

個別支援計画は子ども・保護者・訪問先施設の意向を丁寧に反映して作成されている。

計画に沿った実践が徹底されており、訪問先施設との情報共有・助言がスムーズに行われている。

〈意識的な取組〉

子どもの変化を丁寧に観察し、支援計画を随時見直す体制を維持。

訪問後には記録・振り返りを徹底し、職員間で支援内容の統一と質の維持を図っている。

### 3. 保護者への説明・連携

利用開始時の運営規程・利用負担の説明が丁寧で、保護者の安心感につながっている。

支援内容や訪問の目的を「保育所等訪問支援計画」を基に分かりやすく説明しており、透明性の高い運営がなされている。

保護者との日常的な情報共有・相談体制が整っており、子どもの変化を共に確認しながら支援を進めている。

家族支援プログラムや情報提供の機会もあり、家庭との協力的支援が実現している。

〈意識的な取組〉

保護者が安心して相談できるよう、連絡のタイミングや方法に配慮している。

アドバイスを「具体的でわかりやすく、取り入れやすい」形で伝えるよう心がけている。

### 4. 非常時等の対応・安全管理

個人情報の取扱いに配慮し、緊急時対応も訪問先施設と連携して実施できる体制を整備。

通信やSNS等を活用し、活動内容や評価結果を発信する姿勢が見られる。

子どもの安全確保を最優先にした支援が行われており、保護者からも安心感を得ている。

〈意識的な取組〉

緊急時の連携方法を事前に確認し、迅速な対応を心がけている。

支援前後の安全確認を徹底している。

### 【さらに充実を図るための取り組み】

教材・支援ツールの更新と共有化の推進

⇒ 訪問支援内容の多様化に対応できるよう、教具の活用事例を職員間で共有し、支援の幅を広げる。

支援スキルのさらなる向上

⇒ 支援員の知識・技術については概ね満足が得られているが、「どちらともいえない」の回答もあるため、外部研修や事例検討会を通して専門性の継続的向上を図る。

保護者・訪問先との情報共有の強化

⇒ 支援経過や成果をより明確に伝えるために、定期報告書や簡易フィードバックシートの活用を検討する。

評価と改善の循環体制の明確化

⇒ 自己評価やアンケート結果を定期的に振り返り、改善内容を明示して次期支援に反映する仕組みを整備する。

## 弱みと今後の取り組み

### 1. 弱みだと思われること

本事業所においては、全体的に「はい」の回答が多く、概ね良好な評価を得ている一方で、以下の点において課題がみられました。

- ・訪問支援に使用する教具・教材の整備状況（環境・体制整備）  
一部の利用者から「十分に整っていない」との指摘があり、訪問先の環境や子どもの特性に応じた教材準備に課題があることが示唆されました。
- ・緊急時対応および安全確保体制の連携（非常時等の対応）  
「訪問先施設との緊急時の対応連携」および「安全確保に関する周知・実践」において、一部「どちらともいえない」「いいえ」の回答が見られ、現場での具体的な対応手順や共有方法の明確化が求められています。
- ・訪問支援員の助言内容や伝達のわかりやすさ（満足度・保育所意見）  
支援員の対応に対して概ね高評価を得ているものの、「助言が具体的でわかりやすいか」「回答が適時・適切か」といった項目で「どちらともいえない」が複数回答されており、伝達方法や共有タイミングの工夫が課題と考えられます。

### 2. 課題の要因

- ・教材整備に関する課題の要因  
訪問支援の特性上、訪問先施設や子どもの発達段階に応じた教材の準備が必要であり、支援員ごとの個別対応に依存しやすい状況にあります。また、教材の保管・共有方法が統一されていないことも一因と考えられます。
- ・緊急時・安全確保体制の課題要因  
訪問支援は外部施設での活動が中心であるため、事業所と訪問先との間で緊急時対応手順の共有や情報伝達方法（連絡網・報告ルート等）が十分に明文化されていないことが課題と考えられます。
- ・助言や支援内容の伝達に関する課題要因  
支援員の専門性や説明スキルにばらつきがあるほか、訪問先職員や保護者へのフィードバックの形式（口頭中心・書面記録の少なさ等）に統一性が不足していることが要因と考えられます。

### 3. 改善に向けて必要な取組・工夫

- ・教材・教具の整備と共有体制の構築
  - 子どもの発達段階や目的別に教材を分類し、事業所内で共有できる教材リストを作成する。
  - 訪問支援員が共通で利用できる教材保管スペースの確保と定期的な整備を行う。
- ・緊急時対応・安全確保マニュアルの整備と研修の実施
  - 訪問先施設ごとの緊急時対応マニュアルを作成・配布し、支援員が共通理解をもてる体制を整える。
  - 定期的なシミュレーション研修や情報共有会を実施し、即応力の向上を図る。
- ・助言・報告内容の可視化とコミュニケーションの質向上
  - 訪問支援後の報告書・助言記録を簡潔に共有できる書式を統一し、保育所・学校・保護者と共有する。
  - 支援員向けに「伝える力」「報告の整理方法」等の内部研修を実施し、わかりやすく実践的な助言を行えるよう支援する。

### 4. 今後の方向性

今後も、保育所・学校・保護者との三者連携をさらに強化し、子どもの発達支援における一貫性と安心感を高める取組を継続していきます。また、事業所として教材・情報の共有化、緊急時対応体制の明文化、職員研修の充実を重点目標として、支援の質向上に努めてまいります。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスびすかびすか JR尼崎駅前店

公表日 R7年11月14日

利用児童数

3

回収数

3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	0	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	0		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R7年11月14日

放課後等デイサービスびすかびすか JR尼崎駅前店

利用児童数

3

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	2			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	2			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	2			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	2			
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	2			
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・とても丁寧に教えていただいています。アドバイスも的確でわかりやすいです。ありがとうございます。				・ありがとうございます。今後も連携を強化し、学校生活へのサポートをしていければと思います。よろしくお願いいたします。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスびすかびすかJR尼崎駅前店		R7年11月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	必ず多職種で訪問できるように配置されている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	訪問前後には、振り返りや会議を行っている。	情報共有の機会を増やす必要がある。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	アセスメントや支援計画の作成は、必ず訪問支援員、訪問先、家庭で連携を取りながら行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		情報共有の機会を増やす必要がある。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	定期的に面談の時間を設けたうえで、支援計画書の作成にあたっている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	訪問支援員への共有は行った上で、訪問前の打合せでも確認をしている。	情報共有の機会を増やす必要がある。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		標準化されたツールの検討が必要である。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		情報共有の機会を増やす必要がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	支援前に多職種の各役割や支援内容、目的を確認している。	情報共有の機会を増やす必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		情報共有の機会を増やす必要がある。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	訪問先の環境に合わせて、見学場所、支援方法を検討している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	記録は必ずとっており、報告書として保護者にも共有している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的に意向や課題のすり合わせを行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	3		外部研修の機会を作る。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		SNSでの発信機会を増やしていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	訪問支援時等に、訪問先からの相談や疑問点に都度、応じている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	報告書を用いて共有し、必要に応じて個別相談の機会をとっている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		